

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎ 5304
環境事業所 ☎ 7710
総合支所



▲食べ物を残さず食べ切ることは、ごみの減量につながります

10月は「循環型社会形成推進月間」です

循環型社会形成の取り組みの一つに、食品ロスの削減があります。食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品ロスの発生量は、日本全体で621万トンと試算され（農林水産省および環境省「平成26年度推計」）、その約半分が家庭から発生したものとわれています。

主な原因として、必要以上の食品を購入してしまう「買い過ぎ」、いつか食べると取り置いたまま賞味期限が切れる「置き過ぎ」、皮を厚くむくなどの「除け過ぎ」、食べ切れずに残ってしまう「作り過ぎ」などが挙げられます。このような食品ロスはちよつとした心掛けで減らすことができます。

詳しくは、市ホームページで「食品ロスを減らそう」で検索してみてください。

■ごみ処理家計簿

減量効果		7月分
前年	処理費用換算	+187万円
同月比	排出量（市民1人1日当たり）	+14g(876g)

処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります